

- 問1 奈良時代に編纂された歴史書である『日本書紀』に、飛鳥時代の重要な政治的動向として記録されている事柄はどれか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 桓武天皇による平安京への遷都 | 2. 中大兄皇子らによる大化の改新の進展 | 3. 一遍が各地を巡り歩いた踊り念仏の様子 | 4. 平将門が関東で朝廷に対し起こした反乱 |
|-------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
- 問2 律令国家が、6年ごとに戸籍を作成し、それに基づいて人々に口分田を割り当てる「班田収授法」を維持した主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 人民の構成を正確に把握し、収穫した稲の一部を税（租）として確実に徴収するため | 2. 土地を永久に個人の私有財産と認めることで、農業生産の意欲を高めるため | 3. 農具や肥料を国が貸し出すことで、荒地の開墾を国家主導で進めるため | 4. 有力な貴族や寺院に土地を寄進させ、地方の政治を安定させるため |
|---|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問3 律令時代の地方行政制度において、地方を統治するために設置された行政区分の名称とその読み方の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「郡（こおり）」、末端に「里（り）」を置いた。 | 2. 最も広い範囲を「藩（はん）」、その下に「郡（ぐん）」、末端に「村（そん）」を置いた。 | 3. 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「里（さと）」、末端に「郡（むら）」を置いた。 | 4. 最も広い範囲を「道（どう）」、その下に「府（ふ）」、末端に「県（あがた）」を置いた。 |
|---|---|---|---|
- 問4 奈良時代、社会の不安を取り除くために仏教の力を借りようとし、全国に国分寺・国分尼寺を建立させ、都である平城京に東大寺の大仏を造らせた天皇は誰ですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 天智天皇 | 3. 天武天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 奈良時代、唐から5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて来日し、日本の僧侶に正しい仏教の規律を授ける仕組みを整えた人物は誰ですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 鑑真 | 2. 空海 | 3. 最澄 | 4. 行基 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 奈良時代、相次ぐ疫病の流行や政治的な混乱による社会不安をしのぐため、仏教の力によって国家の安定を図ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立した天皇は誰ですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 律令制度の下で作成された戸籍において、重い税負担を免れるために、本来は男子である者を女子として虚偽の申告を行う「偽籍（ぎせき）」が横行しました。当時の税制において、収穫の約3%の稲を納める「租」は男女共通の負担でしたが、男子にのみ課せられ、偽籍の原因となった主な負担の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 収穫の約3%の稲を納める租、地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸 | 2. 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして兵役 | 3. 都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして口分田を分け与える班田収授 | 4. 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、そして土地を永久に私有できる権利 |
|--|--|---|---|
- 問8 律令制度下の十世紀ごろの戸籍には、実際よりも女子の人数が極端に多く記録されるという不自然な統計が見られます。このように男子を女子と偽って登録する行為が横行した背景として、正しい説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 男子には調・庸や雑徭といった重い負担が課されていたが、女子はそれらの負担が免除されていたため。 | 2. 女子の方が男子よりも口分田を多く割り当てられる決まりがあり、より広い耕作地を得るため。 | 3. 当時の医療技術では男子の死亡率が非常に高く、家系を存続させるために女子として登録する必要があったため | 4. 土地の面積に応じて課される「租」の負担が男子にのみ集中しており、女子は納税の義務がなかったため。 |
|--|--|---|---|
- 問9 律令国家のもとでの人々の暮らしについて、九州北部の警備を目的として主に東国などの農民から徴収され、3年の任期で派遣された兵士を何と呼びますか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 足輕 | 2. 衛士 | 3. 健児 | 4. 防人 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問10 遣唐使の航路が、それまでの朝鮮半島沿岸を経由する経路から、外洋を横断する経路へと変更された理由と、その後の状況について説明したものとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 新羅との関係が悪化したことで半島沿岸の航行が困難になり、遭難のリスクが高い航路をとらざるを得なくなった。 | 2. 高句麗が日本を圧迫したため、軍事的な衝突を避ける目的で九州から南島を経由する航路が開発された。 | 3. 造船技術が向上して大型船が導入されたことで、最短距離で大陸に渡るための積極的な航路変更が行われた。 | 4. 唐が日本に対して新羅を経由しないよう命じたため、外交上の配慮から航路を大きく南寄りに変更した。 |
|---|--|--|--|
- 問11 奈良時代、聖武天皇の招きを受け、日本の僧侶に正しいルールである「戒律」を授けるために来日した唐の僧侶は誰か。また、その人物が建立した、当時の唐の建築様式を伝える代表的な寺院の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 鑑真と唐招提寺 | 2. 最澄と延暦寺 | 3. 行基と東大寺 | 4. 空海と金剛峯寺 |
|------------|-----------|-----------|------------|
- 問12 大宝律令が制定された飛鳥時代後半から奈良時代にかけて、律令国家は戸籍に基づいて人々に土地を割り当てました。班田収授法により、6歳以上の男女に与えられ、その人が亡くなると国に返還することとされた耕作地を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 名田 | 2. 口分田 | 3. 墾田 | 4. 荘園 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問13 701年に制定され、刑法にあたる「律」と、行政法や民法にあたる「令」の両方が整備されたことで、日本が律令国家として完成したことを示す法典は何か答えなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|-----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 養老律令 | 3. 大宝律令 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|---------|---------|-----------|
- 問14 奈良時代に唐から鑑真が招かれた歴史的背景と、彼が「戒律」を伝えたことによる影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 税の免除を求めて勝手に僧侶になる者が増えていたため、正式な僧侶を認定する基準を設けて仏教の秩序を正した。 | 2. 比叡山に延暦寺を建立することで、平安京の北東を守護し、天皇を中心とした新しい国家体制の精神的支えとした。 | 3. 唐で流行していた禅の教えを広めることで、文字を読めない武士層でも悟りを開けるような簡素な信仰を確立した。 | 4. 土木事業や貧民救済を通じて、国家の許可なく民衆に直接布教を行うための新しい組織作りを推進した。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中大兄皇子らによる大化の改新の進展	『日本書紀』は720年に完成した、神代から持統天皇までの出来事を漢文で記した正史です。中大兄皇子（天智天皇）らが蘇我氏を倒して着手した大化の改新は7世紀の出来事であるため、この書物の記録対象に含まれます。一方、平安京遷都は8世紀末、平将門の乱は10世紀、一遍の活動は鎌倉時代であり、いずれも書物の完成以降の出来事であるため記述されていません。
問2	答え 1 人民の構成を正確に把握し、収穫した稲の一部を税（租）として確実に徴収するため	班田収授法は、国家の財政基盤を支えるための重要な制度です。戸籍によって性別や年齢などの人口を把握し、それに応じた口分田を割り当てることで、対価として「租」という税を課しました。これにより、国家は不安定な私有化を防ぎつつ、安定した税収を確保しようとした。
問3	答え 1 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「郡（こおり）」、末端に「里（り）」を置いた。	大宝律令などに基づき、全国は「国（くに）」、その下の「郡（こおり）」、さらにその下の「里（り）」という単位で編成されました。国には国司、郡には郡司が置かれ支配が行われました。
問4	答え 1 聖武天皇	この天皇の治世では、疫病の流行や政治的な争いが続いたため、仏教の力で国家を守ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、東大寺の建立や大仏造立などの事業が推進されました。天武天皇は飛鳥時代に律令国家の基礎を固めた人物、桓武天皇は平安時代初期に平安京へ遷都した人物であり、時代や業績が異なります。
問5	答え 1 鑑真	当時の日本では、正式な僧侶になるためのルールである「戒律」を授けることができる高僧が不足していました。聖武天皇の要請を受けた鑑真は、何度も遭難を繰り返しながらも執念で来日を果たし、日本の仏教制度を確立させました。
問6	答え 1 聖武天皇	奈良時代の中頃、天然痘の流行や藤原広嗣の乱といった社会不安を背景に、仏教の力で国を治めようとする政策がとられました。この政策を進めたのは聖武天皇であり、全国に国分寺・国分尼寺を建立するだけでなく、都である平城京には東大寺を建立し、巨大な大仏（盧舎那仏）を造立しました。
問7	答え 2 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして兵役	律令制における税負担のうち、田地に対して課せられる「租」は男女ともに課せられましたが、それ以外の「調（特産物）」「庸（都での労役の代わりの布）」「雑徭（地方での労役）」「兵役」などは主に男子に対して重く課せられていました。そのため、これらの重負担を避ける目的で、戸籍を書き換えて男子を女子と偽る「偽籍」が増加し、国家の財政や軍事体制に影響を与えました。
問8	答え 1 男子には調・庸や雑徭といった重い負担が課されていたが、女子はそれらの負担が免除されていたため。	律令制において、収穫した稲を納める「租」は男女ともに課されていましたが、特産物を納める「調」や、都での労役の代わりとなる「庸」、地方での労働である「雑徭」といった重い負担は、主に成人男子を対象としていました。そのため、こうした厳しい労役や現物納の負担から逃れるために、男子を女子と偽って戸籍に登録する「偽籍（ぎせき）」が急増しました。当時の統計で女子の割合が異常に高いのは、生存率の違いではなく、この税逃れが原因です。
問9	答え 4 防人	唐（中国）や新羅（朝鮮半島）などの大陸からの攻撃に備えるため、大宰府などの九州北部に配置されました。徴兵された農民には、九州までの旅費や武器、食料などが自己負担とされる極めて重い負担が課せられていました。都の警備を担当した「衛士」や、後に地方の有力農民の子弟から採用された「健児」とは区別されます。
問10	答え 1 新羅との関係が悪化したことで半島沿岸の航行が困難になり、遭難のリスクが高い航路をとらざるを得なくなった。	古代の航海技術では沿岸部を見ながら進むのが一般的でしたが、新羅との外交関係が冷え込んだことで、日本は安全な沿岸航路を失いました。これにより、東シナ海を横断するという極めて危険な航海を強いられることになり、遣唐使の乗った船が遭難する事例が多く発生しました。
問11	答え 1 鑑真と唐招提寺	唐の僧侶であった鑑真は、当時の日本において不透明だった僧侶の資格制度を整えるため、正しいルール（戒律）を伝える役割を期待されて招かれました。鑑真は来日後、奈良に唐招提寺を建立し、日本の仏教の発展に大きく貢献しました。行基は東大寺の大仏造営に協力した僧であり、最澄と空海は平安時代初期に新しい仏教（天台宗・真言宗）を広めた人物です。
問12	答え 2 口分田	律令制のもとでは、土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則がありました。班田収授法はこの原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の人々に、その身分に応じて耕作地を貸し出し、死後は国に返還させる仕組みです。これにより、国家は安定した税（租）の徴収を目指しました。
問13	答え 3 大宝律令	文武天皇の時代である701年に、藤原不比等らによって編纂されました。これにより、天皇を中心とする中央集権的な統治制度が法的に整い、日本は律令国家としての形を完成させました。同時期の年表では、大化の改新から続く国家形成の最終段階として位置づけられています。
問14	答え 1 税の免除を求めて勝手に僧侶になる者が増えていたため、正式な僧侶を認定する基準を設けて仏教の秩序を正した。	当時の日本では、僧侶になると租・庸・調などの税が免除されたため、自称する僧侶が増えて国家財政や秩序が乱れていました。鑑真が「戒律」を伝え、厳格な儀式（授戒）を受けた者だけを正式な僧侶と認める制度を確立したことで、国家による僧侶の統制が可能になりました。